

とやま未来創生戦略 2017 改訂の概要

1 改訂のポイント

(1) 施策評価の実施による見直し

- ・重要業績評価指標や事業の進捗状況、施策等評価会議でのご意見を踏まえた見直し

(2) 国の動向を踏まえた修正

- ・国の動向（まち・ひと・しごと創生戦略、政府予算等）を反映

(3) 富山県の強み・特色を活かし、平成 29 年度以降の各種施策の「深化」に向けた修正

- ・県議会、県民会議でのご意見や社会情勢を踏まえた見直し
- ・H28.3月の戦略改訂以降の動きを反映（G7 富山環境大臣会合、H28.9 補正等）
- ・地方創生推進交付金等を活用して数年にわたって重点的に実施していく事業を反映

2 基本目標別の施策の「深化」に向けた主な改訂内容

◆基本目標 1 結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備

- 結婚を希望する男女の出会いの場を提供するとともに、若者の意識調査結果を踏まえ、県、市町村、企業・団体等で婚活支援に関するノウハウを共有し、連携・ネットワークを構築することなどにより、結婚支援体制を強化
- 県内経済団体等と連携して「企業子宝率」を活用し、モデル企業の表彰や取組みの普及啓発を図ることにより、仕事と子育てが両立しやすい環境づくりを促進
- 仕事と子育ての両立を図る、働き方改革を推進

◆基本目標 2 産業振興、若者等の雇用創出、観光振興、県内への移住促進

<産業・地域経済の活性化>

- 独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）北陸支部等及び同支部に設置されたアジア医薬品・医療機器トレーニングセンター研修所での研修の実施
- 県薬事研究所における国立医薬品食品衛生研究所との天然物医薬品分野での共同研究・研究協力及び最新鋭の質量分析計等の高度な分析機器を整備した「未来創薬開発支援分析センター」（仮称）の設置等を通して、医薬品関連産業のさらなる発展を目指す
- 生産性向上や新たな付加価値の創造のための IoT を活用した中小企業の設備投資等を支援するとともに、県内企業等による「IoT 推進コンソーシアム（仮称）」を新たに設置し、IoT の導入促進に向けた「富山型モデル」推進
- ものづくり研究開発センターにおいて、製品の評価を行う「製品機能評価ラボ」（仮称）やセルロースナノファイバーを活用した事業化を促進するための「セルロースナノファイバー製品実証・試作拠点」整備などにより、県内企業の技術開発を支援
- アルミ分野などで産学官金が連携したコンソーシアムを設置し、県内企業の取引拡大や新技術・新製品開発を促進
- 自動化に対応した機械の運用管理や生産現場における生産性向上のための現場改善などに関する研修の実施によるものづくり人材の育成
- 総合デザインセンターに国内外の企業や若手デザイナー等が連携交流を行うデザイン交流創造拠点の整備

<農林水産業の振興（競争力強化）>

- 地域の創意工夫による米政策改革への対応や、米の新品種の戦略的導入、収益性の高い園芸作物の生産拡大、畜産農家の生産基盤強化など、さらなる競争力強化を図る
- 本県を代表するブランド魚であるブリの漁獲量の変動要因解明の一環として、回遊経路の解明に向けた調査やシロエビの生息環境調査を実施
- 平成28年度からブランド化を進めている県産紅ズワイガニ「高志の紅（アカ）ガニ」を中心とした重点PRを首都圏等において実施
- 県産農林水産物等のより効率的・効果的な輸出促進を図るため、「富山県産農林水産物等品目別輸出促進方針」に基づき、富山ブランドの確立や発展段階に応じた事業者への支援を実施

<G7 富山環境大臣会合の成果を踏まえた取組みの推進>

- G7 富山環境大臣会合で採択された「富山物質循環フレームワーク」を踏まえた食品ロス・食品廃棄物対策など廃棄物の排出抑制・リサイクルを推進

<若者の県内定着>

- 県内大学3年生を対象にした就職セミナー、女子学生限定で県内企業の女性社員との座談会や就活メイク講座を開催するほか、富山県インターンシップ推進センターを新たに設置
- 県外出身大学生とその父母への県内企業の魅力や本県の住みやすさ・暮らしやすさを動画等でアピールすることなどにより、県内大学生等の県内定着を促進
- 産業界のニーズを踏まえた全国初の医薬品工学科、知能ロボット工学科の設置や定員増に伴う新校舎の建設に加え、新たに看護学部を開設するなど、県内で高等教育を受ける環境を整備し、県内定着を促進

<地域の魅力創生、観光の振興、定住・半定住の促進>

- 立山砂防の世界文化遺産登録に向け、顕著な普遍的価値を国内外に広くPR
- ユネスコ無形文化遺産代表一覧表への記載が決定した高岡御車山祭や魚津のタテモン行事、城端神明宮祭の曳山行事の支援など、本県が誇る曳山の魅力を発信
- 日本版DMOとして（公社）とやま観光推進機構を中心に、旅行者データの収集・分析による戦略的な観光プロモーションや観光資源の掘り起し、磨き上げ等を実施
- 富山駅構内で日・英・中3ヶ国語で案内を行う「とやま旅ナビ」を運営するなど、海外からの個人旅行者（FIT）をはじめとする旅行者の受入体制を充実
- 世界水準の観光資源である「立山黒部」について、環境保全と利用の両立に十分配慮のうえ、国内外の多くの旅行者から「選ばれ続ける観光地」となるようさらなる検討を行い、世界ブランド化の取組みを推進
- 欧米豪など新規市場からの誘客強化のため、世界水準の観光資源「世界遺産五箇山」「立山黒部」や豊かな食、伝統工芸などの素材の魅力について、媒体を選び効果的・効率的に発信し、本県の認知度向上を促進
- 東アジア・東南アジアからのリピーター拡大のため、本県の四季折々の魅力、雪景色やスキー・雪遊び、温泉、冬の味覚など、冬季の魅力を発信し、年間を通じた来訪を促進

- 平成 28 年 6 月に開設した、新たな情報発信拠点「日本橋とやま館」において、物販、飲食、観光・定住・U I J ターン、交流・イベントなどの多彩な機能を活用し、富山の魅力を首都圏に向けて強力に発信
- 「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟が承認された富山湾のさらなる国際的ブランド力向上に向け、富山湾岸サイクリングコースの拡充整備・活用やマリンスポーツの振興、自家用船舶、クルーズ客船の誘致など、その多彩な魅力を活用・保全する取組みを推進
- 富山しごと・くらし支援センターへ新たなコーディネーター配置等によるU I J ターン就職の促進
- 定期的な移住相談会・セミナー、大規模な移住・転職フェアの開催、インターネットを活用した新規相談者の獲得・セミナーの集客強化、大阪ふるさと情報センターへの富山県情報コーナーの設置等による移住促進など、富山暮らしの魅力を発信

◆基本目標 3 女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上

<多様な人材確保>

- 女性が輝いて働ける環境づくりを進めるため、イクメンやカジダンに関する出前講座の実施等による男性の家事・育児・介護等の参画の促進や長時間労働の見直し等の働き方改革を推進
- 「エイジレス社会（生涯現役社会）」の実現に向け、イベント開催等による普及啓発に加え、地域社会において生活支援等の担い手となる元気な高齢者やシニアタレント（一芸に秀でた高齢指導者）等のエイジレス人材育成を促進
- 県内ものづくり企業等の海外事業展開を担う人材の育成を支援するため、在職者を対象としたセミナーを実施

<労働生産性の向上>

- 国の「サービス産業チャレンジプログラム」に基づく先進優良事例の徹底普及やIT利活用の促進など、北陸新幹線開業による人の流れの変化や、消費者ニーズの変化に対応したサービス産業の付加価値の増大と効率性の向上を図る事業に対する支援

◆基本目標 4 活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくり

<交通、まちづくり>

- 北陸新幹線の整備促進、伏木富山港の機能充実、羽田国際乗継の利便性向上やPR、県内外でのエアポートセールス及び隣接する総合体育センターとの相互利用促進に向けた環境整備などにより、富山空港の利用を促進
- 商店街の空き店舗を活用した住民ニーズが高い業種の出店やシェア・オフィス等の整備のモデル的支援
- あいの風とやま鉄道新駅の利用促進にも資するよう、広域の観点からまちづくりを推進

- 「富山県地域交通活性化推進会議」を開催し、交通機関相互の乗継利便性の向上と**持続可能な地域公共交通**の確立に向け、諸課題を検討、協議

<健康寿命の延伸、医療福祉の充実>

- IoTを活用した運動習慣の定着や家庭や外食における食生活の改善など、県民一人ひとりの健康づくりへの意識の向上や取組みによる**健康寿命日本一の推進**
- 市町村が行う地域ケア会議などの取組支援、郡市医師会の在宅医療推進に向けた取組支援、Webカメラやセンサー等を活用した在宅医療の実証、**訪問看護ステーションの機能強化**

<豊かで快適な環境づくり、安心・安全の確保>

- G7 富山環境大臣会合を踏まえて、北東アジア自治体環境専門家会合で議論し採択された「**2016 とやま宣言**」に基づく北東アジア地域における環境保全の取組みなど、国連機関や同地域の自治体等と連携した**国際環境協力**を推進
- 富山の食に着目した「**富山型食生活**」や栄養バランスのとれた食生活の普及によるライフステージに応じた健全な食生活の実現、食品ロス削減にもつながる食材を無駄なく使い切る工夫の普及など、**県民運動**として**食育**を推進
- **特殊詐欺被害**に遭いやすい県民への直接的な注意喚起及び防犯指導、**高齢者への効果的な広報啓発**、事業者との連携による**水際対策**の強化

<文化振興、未来を担う人づくり>

- 平成30年に**生誕1300年**を迎える**大伴家持**について、その功績を普及啓発するとともに、記念事業の開催や「**大伴家持文学賞（仮称）**」の創設等により県民を挙げて顕彰
- **富山県美術館**の開館に向けて、県民が優れた文化を鑑賞する機会の充実、イベント等と連携した**情報発信の強化**とともに、新しい文化の創造への取組み支援や、文化を通じた様々な**交流・文化活動**への参加の拡大
- **政府関係機関移転**による「**キャリア教育指導者養成研修**」の本県実施において、本県のキャリア教育の実践等を活用し、教育現場と連携した研修の一層の充実、研修カリキュラムの拡大を目指す

◆重要業績評価指標（KPI）

- 引き続き、KPIを基に、各般の取組みの進捗状況を把握し、必要な見直しを実施
- 国の「**まち・ひと・しごと創生総合戦略**」のKPIについて、戦略期間の中間年である平成29年度に必要な見直しを行う動きがあること、県政運営の中長期的指針である総合計画が見直されることなどを踏まえ、平成29年度以降、必要な見直しを行うことを検討